

アメリカの幼児教育視察報告

☆ ☆ ☆

特にナーセリースクールについて

安 間 公 観



私は昨年の九月下旬日本を立つて渡米、本年二月の下旬帰国した。目的は幼稚園教育の視察調査ではあつたが、現今著しい進歩を示しつつあるナーセリースクールに対し、深い興味をもつてこれらを、見学した。その理由は、幼稚園教育のみを見て、今日のアメリカに於ける、幼児教育を語ることは出来ないし、また、わが国の幼稚園の現状からしても、このナーセリースクールの視察が、殊更必要であることを痛感させられたからである。

幼稚園教育の諸問題に関しては、次の機会に報告をするつもりであるが、ナーセリースクールと幼稚園との相違を知つて頂くために、その概況を述べると、アメリカの幼稚園は、大抵就学前一カ年である。そして、義務教育的に行われているところもかなりある。殆んど学校に附設されているから、従つて学校との教育的関係は密接であり、理想的である。勿論クラスルームも、学校の教室と隣接して、一組の幼児数は二十五名乃至三十名である。広さは三十坪内外、新しい幼稚園になると五十坪もあるかと思われる豪華なものもある。

一 小学校に於ける幼稚園の室数は、大部分二つであつて、特別の事情のない限り、定員外の收容はしないから、午前と午後の二部教育が行われている。園長と云うものも居ないしまた別に主事とかという名称をもつものもない。ただ学校長あるのみで、職員名簿を見ても、各学年受持教師と共に、幼稚園教師は、比較的上席に置かれていて、年令は二十五才位

から、六十才程度の婦人である。

これら幼稚園の実情を覗くと、最早アメリカに於ては、わが国のように、幼稚園の独立的存在は認められない。即ち小学校教育の一部分であり、基礎教育上、重要視されていることは、疑いのない事実である。

☆ ☆

扱て、ナーセリ・スクール (Nursery School) の調査報告をするに當つて予め御了解願ひ度いことは、かの広大な大陸のことであるから、一を見てそれが総てであるとは考えられないし、各州によつてその管理・監督が行われているようであり、また、カルホニアの如き、比較的財源の豊かな州にあつては、北部南部その他の州とは違つて教育施設のみを見て、実に恵まれた発展を示していると同時に、各地の必要性に順じた措置が講じられているわけである。

アメリカのナーセリ・スクールは、

国家の教育系統に編入され、政府の教育局には Nursery Kindergarten Primary Education & Specialist として、デヴィス博士が、それを担当している。故にこの三者は教育上分離することの出来ない、密接な関係におかれらる。

ナーセリ・スクールは、各地の実情によつて異なるも、大体イギリスの創設者・オウエン、マクミラン両女史のそれを取入れた進歩的なものと、加州大学附設の如き高級的に類するものと、デイ・ナーセリ (Day Nursery) から発達したものが、現今、行われている。

ようである。なかにもデイ・ナーセリよりのものは、十年前から最近に至るまでの普及と進歩はまことに驚くほかはない。私はこれによつて如何にアメリカの幼児達が、階級的の差別なく、恵まれた教育環境にあるかということを知つた。

私は二十数カ所のナーセリスクールを視察した。そのうち三つの異なるもの

の概要を報告して御参考に供することとする。

(一) 加州バークレイ市 Parent Nursery school

ペアレント・ナーセリスクールは、バークレイ成人教育の一部分であつて、幼児のための教育体験と、両親のそれらに対する実習に提供されている。幼児を観察した自ら実習に参劇して学ぶことは両親のためと同時に、低年齢幼児の教育上、必要であることは云うまでもない。従つてこの場で学ぶ母親は、自己のためやその他、何事も幼児に対する独自の行動は許されない。幼児はお互の接触によつて、大いなる成長をもたらし、母親も幼児を指導する体験を通じて、幼児と共に伸びてゆく——また母親は、幼児の成育振りを観たり、その年令のレベルに適切な指導法を学ぶ機会を得てそれら総ての智識と技能は、母親自身の行為行動の中に、試験されるもので

ある。斯くの如き尊い体験の多くは家庭に於てつねに、実行に移すことが出来る。

母親達は週に一回、夜会合を用いて教師から講義を聞き、種々な討論を行い。日常の生活の中に幼児を如何に教育的ヘルプするかを習得するこの会合には、父親の出席を歓迎する。またあるグループでは、月に一回専門家と共に、特別の集会を開く。

ペアレントナトセリスクールに於ては、両親と幼児を左の目標によつて教育する。

A、両親のために

- 1、幼児の行動を導く、よりよき方法を学ぶ
- 2、幼児の全般的躰に関する識見を高める。
- 3、成長の跡を認め、その発達を助長する方法を学ぶ
- 4、理解と熟練に対する自信を高める
- 5、時折り面倒なことに直面した

場合消極的感情を捨てて出来るだけ寛容な態度で、幼児と共に喜びと満足をもつて事をなし得るよう導く

6、ナーセリ・スクールの技術を実習し、また学校や家庭に於て各々の幼児の必要に応じ、会合の方法を学ぶ機会を与える

7、幼児独自の創作的実験探究を助長せしめるために、母親が如何に指導するかを教える

8、母親相互の協力によつて、ある一つのグループで、事業をすることを学ぶ

9、備品や教材を建設的に、そして創作的に使用する方向に、幼児を導くことを指示する

10、幼児の成長の段階に関係ある行動を、如何に保護するかを説明する

11、善良なグループに生活すると云う、相互関係を理解せしめる

12、幼児をより深く理解し得ること

B、幼児のために

1、友達と共に遊ぶ機会を与える

2、物を分配することや秩序を学ぶことを授ける。

3、家庭の外で、大人からうける援助や指導によつて、永久に拡大されて行く環境の中で、安心を覚えることを教える

4、種々の機会に、自分の環境を観察したり、また多くの家庭で与えられるものよりも、より広い範囲の変化に富んだ教材で、探究することを教える

5、自立と自力に対する奨励

6、身体の安全と健康のことについて教える

7、自分自身または、グループの友達に対して、害になる行為をせぬよう教える

8、食事、睡眠、排泄に係るのある、良い姿勢と習慣を培うことを教える

9、成長発達を培い、興味を増大
する行動を与える。

ナーゼリ・スクールの時間割

(午前組)

- 八・四五—九・〇〇 健康調査
- 九・〇〇—一〇・〇〇 屋外遊
びの監督(天候による)
- 一〇・〇〇—一〇・一〇 遊具
の整頓、用便、手洗い
- 一〇・一〇—一〇・三〇 柑橘
類の果物を与える。年少児に
は休養年長児には談話
- 一〇・三〇—一一・二〇 創作
的遊び、各少数グループに分
れて人形の部屋、積木の部
屋、机で静かな遊び、フィン
ガー・ペイント、砂箱遊び
- 一一・二〇—一一・三〇 整頓
の注告
- 一一・三〇—一一・五〇 用
便、手洗い、全幼児の休養
- 一一・五〇—両親の迎えがある
まで、各児は休養から起き

て、机で静かに遊ぶ

(午後組)

- 二・三五—二・五〇 健康調
査、母親の吾児に対する戸棚
と用便の監督
- 二・五〇—三・五〇 興味を示
した年長児グループのために
特別に計画された遊びの監督
- (三・五〇の時刻の終る五分
前に遊具を整頓することを注
告する)
- 三・五〇—四・〇〇 玩具と備
品を整頓する、(これに対し
て先生からうける手援けは極
めて少ない)
- 四・〇〇—四・三〇 絵本の選
択、少数のグループで談話、
中間給食、音楽
- 四・三〇—終了(両親の迎えを
うけて帰宅)
- (二) 加州サンタモニカ市
Nerery School
Child Care Center (児童相談所)

の施設事業であつて勤労階級中、低
収入の家庭を対象にしている。Child
Care Center は、州の教育局の監
督をうけており、その財源は州より
のものが 62.77%と両親によつて支
払われるものが 37.23%である。
Child Care Center (四カ所)の業
務要項は次の通りである

- 一、母親が働いている家庭の幼児
(学童保護施設も含む)一八〇名
を収容する。
- 一、そのうち55%は学令児で、39.8
%は片親だけのものである。
- 一、そのうちまた、43%は二才から
四才と一才半で46.4%は片親だけ
のものである。
- 一、一五四の家庭が登録されている
- 一、その家庭の58%は片親だけのも
ので、そのうち50%は、月収二〇
〇ドル、またはそれ以下である。
- 一、四カ所の Care Center 中、二
カ所は一日十一時間半として、週
に五日間開所する。

一、一カ年に三〇七日開所し、毎週日曜日と國の祭日のみ休業する。

ナーセリ・スクールの時間割

- 七・〇〇 幼児が登園すると健康調査、両親に簡単な相談、食事まで静かな遊び、
- 七・三〇 朝食、養護教師による身体検査、休養前の用便
- 八・〇〇 休養または睡眠（八時前に登園の幼児）八時以後登園の幼児調査と用便の習慣、屋外の遊びの監督——棒登り、車付の玩具、大形積木、ボール、砂場遊び——等
- 九・四〇 朝の間食、果汁、肝油
- 一〇・〇〇 年令別グループによる指導、創作的教材、イーゼル、ペイント、フィンガー・ペイント、粘土、自然観察、屋外散歩、
- 談話、音楽、絵本等
- 一一・一五 屋食の準備、用便と手洗、休養
- 一一・四五 屋食

一二・三〇 午睡の仕度、手洗、仮寝の着替え

一・〇〇 全幼児の午睡

三・〇〇 起床、着替え、用便、ミルクの給与

三・三〇 屋外と屋内の自由遊び

（年令別グループ）の監督

四・三〇 用便、静かな遊び——

談話、音楽室内玩具、帰宅前の整頓

五・三〇 終了

(三) 州立加州大学附属 ナーセリ

リススクール

A組、八・三〇——一・三〇

月謝\$ドル

B組、八・三〇——二、四五

月謝\$ドル（屋食共）

幼児数、各組一五（男八・女七）

時間割（B組）

八・三〇——九・〇〇 養護教師による全幼児の健康調査

九・〇〇——九、四五 屋内または

屋外に於ける自由遊び

九・四五——一〇・一五 休養（一

五名半数交替）果汁の給与

一〇・三〇——一一・一五 自由遊

びの継続

一一・一五——一二・四五 屋食の

準備

一二・四五——一・一五 屋食

一二・三〇——二・四五 睡眠（起

床後帰宅前果物とトマト汁を与

える）

☆ ☆ ☆

一、のパークレイ市、ペアレント・

ナーセリ・スクールの観るに、両親教

育をして、幼児教育の完璧を期するこ

とは、先ずもつて理想的施設の一つで

あろう。また指導教師の優秀さが如何

に重要性をもつものであるか、われわ

れのふかく学ぶべき点ではなかるう

か。

二、のサンタモニカ、ナーセリ・ス

クールに於いては、幼児をして單なる

(33頁へ)

家庭への連絡と、母の會の行事への参加

遠足、その他で、経済的無理をしない事。他の人の持物を真似して、ねだるまゝに、無理をして買い与える事がない様に。

服装がと、のえられないからと、親のみで、子供の楽しみを中絶させない様に。一緒に参加出来なければ、大丈夫、保母が面倒みますからと、安心させてあげる事が大切です。食料、持ち物等、どの幼児にも差がつかぬ様、こちらで、最低の物を指示しましょう。

下着、その他、常に清潔で、と、のつておれば、そのまゝで、さつぱりと美しい感じをうけるものである事を、事の度に、母親へ、伝えましょう。

無用の厚着を、この頃からさせない様に。

組織された母の會を、どんな形で幼児の行事に参加させたい、でしょうか。物品の寄附や、お金ではなく、母親も共に子供達と楽しむと云う、優しい心やりから出発したいものと思います。紅白玉入れの玉をつくつたり、補つたり、は夜分でも集つて出来ます。

幼児の力では余る部分を、母親同志の奉仕で補う様にして、当日は、外に仿いでいるお母さんも参加出来る様な日を、えらびましょう。仰々しい道具不要の、競技を、お母さん達で考えておいて、プログラムに入れてもらいましょう。

x x x x x

十月の季節や自然は、幼児に想像や、冒険を、勤勞や奉仕や努力の歡びを、そして創造する力を与えるべく用意しています。

この天の賜を、享受すべく、保母も技巧にとらはれない、自由人でありましょう。

(51頁から) 託兒的保育に止めるべきではなく、寧ろ家庭教育と母の愛の行届かざる彼等こそ、よき教師によつて、よき教育が与えられなければならないと思う。十年前に多く行われていたデイ・ナーゼリ (Day Nursery) が、全米を通じて、今日の進歩發展を觀たもので、実に注目すべき現象である。私の參觀した一施設の収容児数は三十五名で、教師は六名と養護教師一名であつた。一教師受持の幼児数は、二才児六名、三才児八名、四才児十名と十二名で、即ち六つのグループに分れてゐた。

三、の加大のナーゼリ・スクールを觀るに大学附屬という特殊の施設關係から、高度の理想教育を目標に於いて他のナーゼリ・スクールに見ることの出来ない経費が、両親の負担となつてゐる。私は時間割のみを記述したが、何れこの内容を後日に報告したいと思つてゐる。

☆ ☆ ☆

現今に於けるアメリカのナーゼリ・スクールは、斯の如く進歩し發展しつつかある。教師は殆んど大学出身の教育課程を卒えた専門家であり、私が視察した感想の結論は、結局、わが國として幼児教育の重要性に対する再認識が政府当局、社会、家庭、それらの人々と共に、現職教師にあるということである。幼児教育をして國家の礎石たらしめるならば、即ちこの積極的推進力を持つことが必要である。